

【様式 1 - 1】

甘楽町 長寿命化修繕計画

平成25年度修正版

平成26年2月



甘楽町 振興課 建設係

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

本町が管理する橋梁は、平成25年度現在で173橋架設されている。このうち、修繕計画対象橋梁は44橋である。

対象橋梁のうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の7%を占めており、20年後の平成45年には、61%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大することが懸念される。

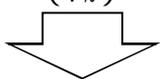
2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト縮減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う” 予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで本町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

平成25年度
3橋
(7%)



平成45年度
27橋
(61%)





2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数				173
うち計画の対象橋梁数	11	5	28	44
うちこれまでの計画策定橋梁数	11	5	27	43
うち平成25年度計画策定橋梁数	0	0	1	1

長寿命化修繕計画の対象：

- 橋長15m以上のすべての橋梁（31橋）
- 橋長15m未満で特に重要度の高い橋梁（13橋）
 - ・桁下に道路がある橋梁
 - ・バス路線に位置する橋梁
 - ・市町村間を結ぶ路線に位置する橋梁
 - ・国道、主要地方道へのアクセス路線に位置する橋梁
 - ・近隣に重要な施設がある橋梁

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき，橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する．

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

パトロール車による走行面の変状について点検を行う．

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

本町が管理する橋梁の中で，架設後30年以上経過した橋梁は全体の約61%を占めているため，近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される．したがって，計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り，橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし，修繕及び架替えに要するコストを縮減する．

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式1 - 2による

【様式 1 - 2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：←→ 対策を実施すべき時期を示す。

は定期点検を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期														
							H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35					
下引田橋	1級	町道105号線	14.5	1967	47	H22				←→	主部材:炭素繊維シート接着 等										
城橋	2級	町道210号線	15.0	1967	47	H22			←→	主部材:塗装 等											
大類橋	1級	町道105号線	15.6	1979	35	H22															
中尾野瀬橋	その他	反町・八反田線	15.7	1988	26	H22															
上尾野瀬橋	1級	町道112号線	15.9	1963	51	H22					←→	床版:床版防水工 等						←→	舗装:打換 等		
下之宿橋	1級	町道113号線	25.7	1967	47	H22		←→	主部材:塗装 等												
金山橋	1級	町道113号線	27.5	1968	46	H22															
小島田橋	その他	町道7177号線	27.5	1967	47	H22		←→	主部材:塗装 等												
下井橋	その他	下井・中道線	52.1	1992	22	H22															
千歳橋	その他	町道8307号線	11.5	1964	50	H22			←→	橋台:表面含侵工 等					←→	主部材:表面含侵工 等					
団地橋	その他	町道3001号線	11.5	1968	46	H22			←→	主部材:塗装 等											
本村橋	その他	町道6297号線	11.7	1977	37	H22		←→	主部材:塗装 等						←→	床版:床版防水工 等					
三途大日橋	1級	町道112号線	12.1	1979	35	H22									←→	舗装:打換 等					
金光橋	1級	町道105号線	12.3	1967	47	H22					←→	床版:床版防水工 等									
山崎橋	その他	町道8309号線	12.5	1980	34	H22															
田口橋	その他	町道8052号線	13.6	1981	33	H22															
上車橋	その他	町道8281号線	13.6	1979	35	H22															
大門橋	その他	町道8057号線	13.8	1979	35	H22															
下神田橋	その他	町道2105号線	14.0	1971	43	H22	←→	主部材:塗装 等													
中沢橋	1級	町道107号線	11.9	1966	48	H23	←→	主部材:塗装 等													
内久保橋	その他	町道8273号線	14.4	1967	47	H22															
裏門橋	2級	町道211号線	32.8	1961	53	H23															
梅の木平橋	その他	町道8306号線	16.4	1970	44	H23			←→	主部材:塗装 等											
寺町谷橋	その他	町道7172号線	27.0	1975	39	H23												←→	主部材:塗装 等		
枇杷の沢橋	その他	町道8220号線	20.5	1978	36	H23	←→	主部材:塗装 等				←→	舗装:打換								
小峠橋	その他	町道8288号線	16.0	1979	35	H23													←→	舗装:打換 等	
上大類橋	その他	町道6193号線	17.1	1981	33	H23															
新天神橋	1級	町道105号線	19.7	1986	28	H23															
上神田橋	その他	金山・八反田線	15.4	1988	26	H23													←→	主部材:断面修復 等	
新寺町谷橋	その他	東徳寺・寺町谷線	30.9	1988	26	H23															
新大橋	2級	町道204号線	17.4	1992	22	H23															
下河原橋	その他	口明塚・吉原線	27.8	1992	22	H23						←→	橋台:断面修復 等								
松葉橋	その他	諏訪山・石堂場線	41.4	1992	22	H23													←→	主部材:断面修復 等	
西原東橋	その他	菅丁田南・尺鶴線	44.9	1992	22	H23			←→	主部材:表面含侵工 等											
西原西橋	その他	藤塚・尺鶴線	45.2	1992	22	H23						←→	主部材:断面修復 等								
慈学寺西橋	その他	遠原・坂戸線	44.8	1992	22	H23													←→	主部材:断面修復 等	
慈学寺東橋	2級	沖・中村線	45.9	1992	22	H23													←→	主部材:断面修復 等	
三ツ俣橋	1級	西天神・七平線	55.0	1992	22	H23						←→	主部材:表面含侵工 等						←→	舗装:打換 等	
下原西橋	その他	下原・中西2号線	55.0	1992	22	H23						←→	主部材:表面含侵工 等								
下原東橋	2級	北城・駒田線	56.3	1992	22	H23						←→	主部材:表面含侵工 等						←→	舗装:打換 等	
南小塚橋	その他	坂下・南小塚線	66.0	1992	22	H23						←→	主部材:表面含侵工 等						←→	舗装:打換 等	
吉原橋	その他	下原・吉原3号線	28.0	2000	14	H23													←→	橋脚:炭素繊維シート接着 等	
戦場橋	その他	町道8227号線	19.9	1963	51	H23													←→	舗装:打換 等	
城上4号橋	1級	町道105号線	9.8	1978	36	H25	←→	床版:打換 等												←→	舗装:打換 等
合計 (千円)							24,785	24,692	24,559	24,824	24,754	24,592	24,654	24,703	24,791	24,973					

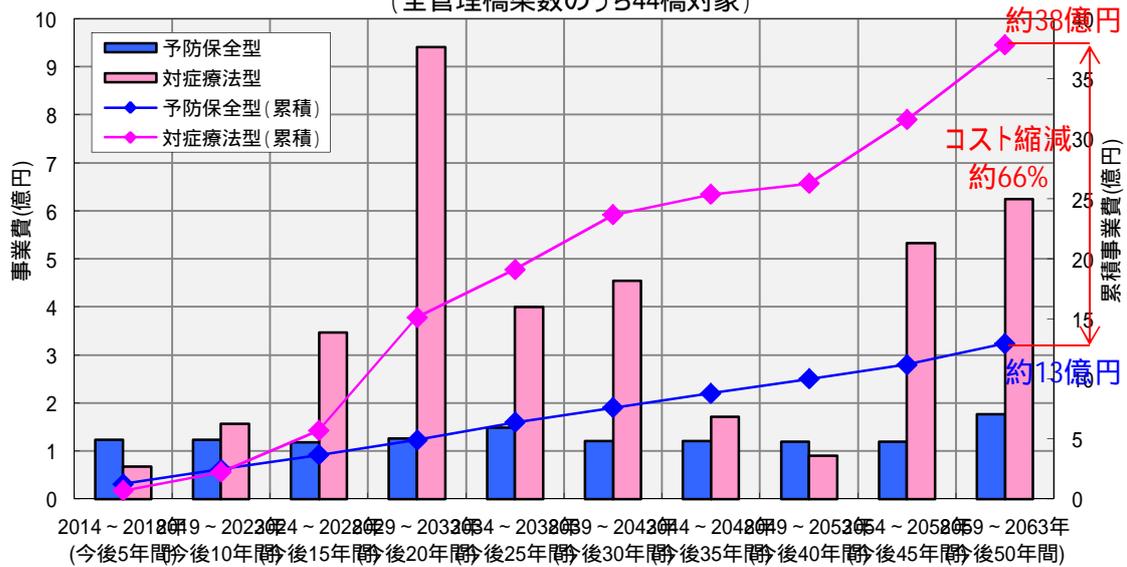
主部材とは、仮にそれらの部材の一部が破壊すれば交通の支障に結びつくような部材を意味し、主桁や床版、主構等を示す。

6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する44橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が38億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が13億円となり、コスト削減効果は25億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。

今後50年間の対症療法的修繕と予防的修繕の将来経費予測
(全管理橋梁数のうち44橋対象)



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
甘楽町 振興課 建設係 tel : 0274-74-3131

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
日本大学 理工学部 土木工学科 関 文夫 教授

